

第126回日商簿記2級 第1問 仕訳問題類題 問題・解答

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現金	当座預金	受取手形	売掛金
未収入金	建物	支払手形	買掛金
未払金	建物減価償却累計額	本店	未決算
愛知支店	売上	仕入割引	受取利息
固定資産売却益	仕入	減価償却費	広告宣伝費
支払利息	売上割引	火災損失	固定資産除却損

- かねて振り出していた約束手形 ¥ 500,000 について、得意先の倒産により支払期日までに資金を用立てることが難しくなったため、手形の所持人である大分商店に対して手形の更改を申し入れ、同店の了承を得て、旧手形と交換して、新手形を振り出した。なお、支払期日延長にともなう利息 ¥ 10,000 は現金で支払った。
- 火災により焼失した建物（取得原価：¥ 10,000,000、残存価額：取得原価の10%、耐用年数30年、定額法により償却、間接法で記帳）に関し請求していた保険金 ¥ 3,800,000 について本日支払う旨の連絡を保険会社から受けた。当該建物は、平成2年4月1日に取得したもので、平成22年5月31日に火災があり、火災発生日現在の簿価の全額を未決算勘定に振り替えていた。なお、当社の決算は3月31日（年1回）であり、減価償却は月割計算で行っている。
- （試験範囲の改定により試験範囲外となったため削除）
- 商品の引き渡しから1週間以内に代金の決済を行った場合には2%の割引を行うという条件で商品 ¥ 180,000 を掛けで売り渡していたが、商品の引渡日から6日目にあたる本日、割引額を控除した金額が得意先から当座預金口座に振り込まれていた。
- ネットラボ株式会社の京都支店は、京都支店負担の広告宣伝費 ¥ 64,000 を愛知支店が立替払いした旨の連絡を本店から受けた。なお、同社は本店集中計算制度を採用している。

・解答

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	支払手形	500,000	支払手形	500,000
	支払利息	10,000	現金	10,000
2	未収入金	3,800,000	未決算	3,950,000
	火災損失	150,000		
4	当座預金	176,400	売掛金	180,000
	売上割引	3,600		
5	広告宣伝費	64,000	本店	64,000